

全国協議会 ニュース

2009年10月1日発行
第208号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

名古屋で二十歳のお誕生会

秋晴れの9月13日、日本初の骨髄バンク(当時は民間の東海骨髄バンク)を介した非血縁者間骨髄移植から20年が経ちました。この記念すべき日、歴史的な一例目の患者さんである橋本さん、ドナーさんである田中さんが元気に顔を揃え、大谷会長、北折先生の進行のもと、「第一号ペア誕生の地 名古屋で20歳のお誕生会」が行われました。

橋本さんと田中さんを交え、

20年前に骨髄バンク設立に向け奮闘された関係者の方々に、当時の思い出を語っていただきま



初期に取材をしてくれた記者さん達も参加



同じ病棟仲間と久しぶりの対面

した。また、名古屋で元気になられた患者さん4名は全員移植月が9月という事で偶然の一致皆さんの笑顔には、嬉しい涙が溢れていました。

私も移植を受けて元気になった1人ですが、当時「他人のためにリスクを背負い骨髄を提供してくれる人がいるだろうか」と不安を抱え、それでも必至で骨髄バンク設立にご尽力された皆さんのお陰で、骨髄バンクがあり、今の私がいるのだとただただ頭が下がる思いでした。はじめの一步がなければ何も進ん

でいきません。不安を乗り越え、今に繋いで下さった橋本さん・田中さん、そして関係者の皆様に感謝し、この先も「患者の立場にたった骨髄バンク」を繋げていけるよう努力していきたいと思いをしました。



希望者を募る会の皆様、大変お疲れ様でした。(高橋)

160名の迫力ある演奏と、骨髄バンク甚句が参加者を魅了



9月12日、骨髄移植推進財団主催の骨髄バンク推進全国大会が、大阪府大東市にて開催されました。

第一部の式典では、来賓挨拶や関西地方で骨髄バンクを支援している団体への感謝状贈呈などが行われました。

の音に溢れた賑やかなもので、大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の皆さん、OMSGosベルアンサンブルの皆さん、大相撲元関取大至さんによる演奏や歌、甚句を楽しまれました。特に骨髄バンクについて謡った大至さんの甚句にはみなさん、聞き惚れていました。

また音楽会の後には、ドナー経験者、移植経験者や財団の正岡理事長などによるトークイベントが催されました。なかでも、正岡理事長による、まだ白血病が不治の病であった時代から現代までの医療の流れのお話が大変興味深かったです。

今回協賛いただきました東海骨髄バンク様、養老ミート株式会社様、大変ありがとうございました。また、あいち骨髄バンクを支援する会、岐阜骨髄バンク希望者を募る会の皆様、大変お疲れ様でした。(高橋)

また音楽会の後には、ドナー経験者、移植経験者や財団の正岡理事長などによるトークイベントが催されました。なかでも、正岡理事長による、まだ白血病が不治の病であった時代から現代までの医療の流れのお話が大変興味深かったです。

新体制を担う理事より皆様へ②

◆加藤 弦 (新任)



北海道プロロックの加藤弦です。97年1月の骨髄液提供から

少しづつ北海道骨髄バンク推進協会との接触を深め、99年に実質的な北海道協会事務局員ということになり、以来、札幌支部と北海道プロロックの活動について、きわめてローカルな感覚で裏方をやっています。

時から昨年度までの理事・島山茂房(現副会長)からは、全国協議会の動向を多少は聞かされておりました。

今年度より再び、理事としてお世話になります。福島の齋藤です。時の流れと共に骨髄バンクも様々に変化、この変化が患者さんにとってマイナスになってはならないと思っています。

今年度より再び、理事としてお世話になります。福島の齋藤です。時の流れと共に骨髄バンクも様々に変化、この変化が患者さんにとってマイナスになってはならないと思っています。

今年度より再び、理事としてお世話になります。福島の齋藤です。時の流れと共に骨髄バンクも様々に変化、この変化が患者さんにとってマイナスになってはならないと思っています。



骨髄バンク甚句を謡う大至さん

た人、その声を記事にして社会に伝えたい人、記事を見てドナーになった人。複数の大小の揺らぎが重なり、連鎖し、しだいに大きなうねりに成長して、今日の骨髄バンクがあります。そしてその揺らぎが、大東市の会場で、演奏者のリードと歌い手の声帯を揺らし、僕を楽しませてくれたのだと考えると、僕は12日の演奏の追想と共に二重の感動を覚えました。(野平)

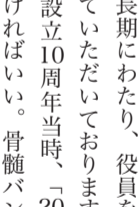


見せる演奏も

今年2月に逝った友人の思いを胸に、彼女が常に言っていた「大丈夫だから」をモットーに努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

医師不足により認定施設での採取、移植が中断
沖縄の会が改善を求めて署名活動を開始

◆品川 保弘 (再任)



NPO法人化前の運営委員時代を含め、干支が一回りするほどの長期にわたり、役員を務めさせていだいておられます。協議会設立10周年当時、「20周年は無ければいい。骨髄バンクもボランティアも必要のない時代になっていければいい」と願っていたのですが、夢はかなわず、間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。間もなくその20周年を迎えます。

心からのご寄付に 感謝申し上げます

8月24日～9月15日	
山田康博	現金 9,880円
S君に骨髄をおくる会	現金 50,000円
藤タクトコーポレーション	現金 10,000円
柴山 隆	現金 10,000円
塩谷 泰人	現金 1,000円
飯島 孝枝	現金 2,240円
●白血病患者支援基金	
術千曲堂印舗	現金 3,491円
メディコ21 古川店	現金 6,528円
ファミリーマートFC池ノ上駅北口店	現金 2,010円
肉のプロショップNAKAGAWA	
現金	3,902円
現金	4,036円
グルメシティ万代店	現金 905円
倉敷中央病院血液治療センター	現金 8,834円
香西食糧柏台店	現金 558円
サービスステーション・ハウ	現金 307円
相原部品藤玉島店	現金 350円
匿名	現金
●佐藤さち子患者支援基金	
北海道骨髄バンク推進協会帯広支部	(OCTV 67,475円)
北海道骨髄バンク推進協会帯広支部	(OCTV 20,000円)
チャリティゴルフ大会)	現金
梅原 保	現金 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

理事3期目になりました川瀬です。「骨髄バンク」に関わるようになったのは、ドナー登録でした。自分にも何かお役に立てることがあるのではと考え、まず登録して、その後ボランティアとして活動しています。

理事3期目になりました川瀬です。「骨髄バンク」に関わるようになったのは、ドナー登録でした。自分にも何かお役に立てることがあるのではと考え、まず登録して、その後ボランティアとして活動しています。

理事3期目になりました川瀬です。「骨髄バンク」に関わるようになったのは、ドナー登録でした。自分にも何かお役に立てることがあるのではと考え、まず登録して、その後ボランティアとして活動しています。

理事3期目になりました川瀬です。「骨髄バンク」に関わるようになったのは、ドナー登録でした。自分にも何かお役に立てることがあるのではと考え、まず登録して、その後ボランティアとして活動しています。

理事3期目になりました川瀬です。「骨髄バンク」に関わるようになったのは、ドナー登録でした。自分にも何かお役に立てることがあるのではと考え、まず登録して、その後ボランティアとして活動しています。

理事3期目になりました川瀬です。「骨髄バンク」に関わるようになったのは、ドナー登録でした。自分にも何かお役に立てることがあるのではと考え、まず登録して、その後ボランティアとして活動しています。

来年度造血幹細胞移植関係予算 概算要求の概要

造血幹細胞移植に関する来年度予算の概算要求の概要が明らかになりました(資料入手日9月11日)。総額は18億6千9百万円で、今年度予算比較で1億6百万円の増額となっています。

今年度、広告業界関係者などを集めた「広報推進委員会」が設置され、公共広告機構による骨髓バンクCMの中断を補うに足る、新たな広告手段の構築に向けた検討が行われており、今回の概算要求はそのための財政措置と見られます。

一方日本赤十字社に対する「骨髓データバンク登録費」の予算は、今年8月からドナー登録時のHLA検査にこれまでのA・B・DR座に加えてC座の検査が実施されていることから、約3千2百万円の増額要求となっています。

また、さい帯血移植対策としては、「さい帯血保存管理業務費」および「さい帯血の採取及び検査に係る経費」がそれぞれ約3千万円の増額要求となっています。

このほか「骨髓提供登録者フォローアップ事業」に関する予算がほぼ倍増となり、「骨髓バンクドナー募集広告経費」も倍増となっています。骨髓バンクの普及啓発広告については、

【追記】本稿準備中の9月16日、概算要求の各項目および金額については、別掲の資料をご参照ください。

■平成22年度移植対策関係予算概算要求の概要 (臓器移植対策室)

	概算要求額	前年度予算額
造血幹細胞移植対策	1,869百万円	1,763百万円
I. 骨髓移植対策	1,214百万円	1,137百万円
<概要>		
(1) 骨髓移植対策事業費 (骨髓移植推進財団)	487,924千円	440,719千円
・ あっせん業務関係事業費	341,814千円	345,288千円
・ あっせん事業体制整備費	54,022千円	8,617千円
【新】非血縁者間末梢血幹細胞移植の導入に係るシステム構築費	42,000千円	0千円
【改】骨髓提供登録者フォローアップ事業	9,126千円	4,788千円
・ 普及啓発事業	88,184千円	82,910千円
【改】骨髓バンクドナー募集広告経費	10,500千円	5,250千円
・ 運営管理費等経費	3,904千円	3,904千円
(2) 骨髓データバンク登録費 (日本赤十字社)	726,523千円	696,576千円
【改】HLA (A座、B座、C座、DR座) 検査費	495,075千円	462,788千円
(3) 医療提供体制施設整備交付金 (医政局指導課計上) (特殊病室施設)		
II. さい帯血移植対策	655百万円	625百万円
<概要>		
(1) さい帯血移植対策事業費 (日本赤十字社)	655,140千円	625,221千円
・ さい帯血保存管理業務費	617,226千円	586,848千円
【改】さい帯血の採取及び検査に係る経費	599,561千円	568,865千円
・ さい帯血情報管理経費	34,941千円	35,335千円
・ 日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	2,973千円	3,038千円
(2) 保健衛生施設等設備整備費 (健康局総務課計上) (さい帯血バンク設備)		

鳩山民主党政権が発足しましたが、8月末時点で、菅民主党代表代行(当時)が「今の概算要求を白紙に戻して、改めて作り直したい」という趣旨の発言をされました。予算策定にあたって、これまでの官僚主導を打破するという姿勢を前面に押し出した発言でしょう。聖域は設け

ないと思われまので、造血細胞移植関係予算についてもいつたん白紙に戻されることでしょうか。しかし、いわゆる意味も目的も曖昧な公共事業やハコもの作りとは根本的に異なり、国民の「いのちと健康」に直結する事業であることから、手厚い予算立てを期待したいと思えます。

さい帯血バンクネットワーク設立10周年 秋篠宮殿下ご夫妻も記念大会にご臨席

8月29・30日、早稲田大学国際会議場・井深大記念ホールにおいて、日本さい帯血バンク



初日最初のプログラムは「もつとクロスしよう」とる人、つくる人、つかう人」をテーマとしたパネルディスカッションでした。「とる人」(採取施設)からは、アンケート回収を増やすために、乳幼児検診を病院負担で行っていることが、「つくる人」(さい帯血バンク)からは、採取施設の要望に添えて休日の調製保存を始めたことが、そして「つかう人」(移植施設)からは医療コーディネーターの存在が医師の事務作業量を軽減し、それにより患者と向き合う時間も増し、患者が安心して治療を受けられる環境が確保されること

が報告されました。関係者の熱心な取り組みにより、さい帯血バンクが大きく育っていることを実感したひとときでした。夕方からの記念式典には、悠仁様ご出生時にさい帯血を提供された秋篠宮殿下ご夫妻がご臨席され、殿下よりご祝辞をいただきました。



解凍名人によるさい帯血解凍デモンストレーション

「もつとクロスしよう」とる人、つくる人、つかう人」をテーマに、市民公開シンポジウムが開催されました。移植数が年間900例を越え、成績も向上し、事業としては順調に進んでいるように見えますが、恒常的な赤字体質や品質の標準化等の諸問題を抱えながらの運営であり、バンクの苦悩する姿を垣間見た思いです。法整備や移植データの一元化、患者擁護の観点での情報提供など、これからのさい帯血バンクの取り組みむべき課題をみんなで考えました。

最後のプログラムは、さい帯血移植を世界で最初に成功させたエリアヌ・グルックマン博士(仏)ら、さい帯血移植医療をリードする日米欧の5人の専門家を招いての国際シンポジウムでした。

同時通訳と格闘しながらも、ヨーロッパの成績や複数さい帯血移植の有効性など勉強になりました。日本からは、東大医科研の高橋先生より非血縁者間移植

2009年度賛助会員 (8月24日~9月15日)	
アステラス製薬株式会社	50,000円
尾西ライオンズクラブ	10,000円
徳島藍ライオンズクラブ	20,000円
森山 久	2,000円

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

●コーディネートの状況と対策について
9月10日開催の常任理事会で、現状と対策について審議されました。本年1~6月における国内患者登録数は995例で前年同期比111%、特に50歳以上が416例で同123%と大きく増加、移植例数は568例、採取件数は566例と共に前年同期比106%でした。4月~6月のコーディネート期間については、確認検査行程は25.0日(前年同期24.0日)ドナー選定から骨髓採取までは74.0日(同71.0日)、コーディネート開始から骨髓採取日までの行程が127.0日(同119.0日)で、いずれも前年に比べて延長しています。特に関東地区のコーディネート期間は前年に比べ11日延長し、主な原因として骨髓採取の受け入れが困難なためと考えられます。以下、対策案(抜粋)です。

- 造血細胞移植学会と協力して、ドナー安全管理料として診療報酬の増額を働きかける(要望済み)。
- 1施設あたりの骨髓採取受け入れ数が違うことについて、その原因を探る。より骨髓採取を受け入れてもらえるような調整のあり方について、財団各部および地区事務局間で、各地区の工夫などの意見交換を行う。また、骨髓採取の調整に関してどのような協力体制が取れるか、財団職員と院内コーディネーターとの意見交換を行う。
- 院内コーディネーターが、非血縁ドナーの骨髓採取受け入れ時に院内調整等に協力できるよう、財団から採取施設に対して要請する。

●第2回目、第3回目「PBSCに関する委員会」の開催
8月15日および9月13日に第2回目、第3回目の委員会が開催されました。第2回委員会では、「顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与について」

●計報
8月30日、財団の常任理事である町田圭治氏(株式会社ケーティーピー常務取締役)が心筋梗塞のため逝去されました(享年70才)。ご冥福をお祈りいたします。

◆日本骨髓バンクの現状(平成20年8月末現在)

	7月	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,731	2,941	343,923	438,348
患者登録者数	213	203	2,649	28,349
骨髓移植例数	122	91	-	10,850
20歳未満ドナー登録者	-	123	10,425*	-
51歳以上ドナー	223**	89**	15,742**	-

■8月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/978人、
献血併行型集団登録会/1,883人、集団登録会/2人、その他/78人

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月~ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数
*4) 17年9月~

全国協議会財政への ご援助をお願いします

私も全国協議会の運営資金は、皆様からの善意のご寄付によって賄われております。しかしながら長引く不況の影響もあって、このところ資金不足に悩ま

身の方には、あつた活動をすべきのご意見もいただいておりますが、移植件数の増加を上回る患者数の増加という現実がそこにある以上、患者支援の面でも、また普及啓発の面でも、事業の拡大は必然であると考えます。真に必要な事業を見極め、資金・資源の有効活用を図ることは言うまでもありませんが、患者さんを取り巻く環境が未だ改善されない現状においては、なお一層、事業を推進しなければならず、これを支える財政基盤を確保しなければなりません。皆様のお力添えをお願いします。

状況は、会場におられた患者さん方の目に、とても頼もしく映ったことでしょうか。骨太な企画が満載の大会であり、来年20周年を迎える全国協議会の記念大会の企画を考えると、うえでも、とても参考になった大会でした。(黒川)